

# 環境に係る情報協議会

## 国営土地改良事業 札内川流域地区

### 1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（関係市町村の「田園環境整備マスタープラン」より）

#### 【現状】

##### 帯広市

十勝平野のほぼ中央に位置し、日高山麓の広大な森林と十勝川・札内川に恵まれた、四季の変化に富んだ気候と豊かな自然環境が特徴である。

##### 幕別町

近年、都市化の進展や住民生活における所得水準の向上、余暇時間の増大等を背景に、快適な生活環境の形成や自然とのふれあい等を求める住民ニーズが高まるとともに、多様化している。

##### 中札内村

村の河川は、十勝川水系で十勝川を経由して太平洋に注がれている。また、日高の山並みや清流日本一の札内川が育む河畔林など自然環境に恵まれており、住民や訪れる人にうるおいと安らぎを与えている。

##### 更別村

村内の河川は、概ね南北方向に緩やかに猿別川に合流し、十勝川を経て太平洋に注がれている。一部に原生林をとどめる地域もあり自然環境保全地区として周辺用地を購入し環境保全に努めている。

#### 【課題】

##### 帯広市

すぐれた自然、残された自然の保全とともに、自然と共存したよりよい生活環境の整備、自然を活用した開発計画、自然環境の再生復元などが課題である。

##### 幕別町

郊外部に連続する丘陵地帯では、降雨時の出水による被害が多く発生しており、樹林地の保全と排水の整備が必要である。

##### 中札内村

近年の経済最優先の社会構造により生活雑排水などの流入によって汚染が進み浄化対策が緊急の課題となっている。

##### 更別村

農村空間を活用して地域に根差した個性的な環境づくりが課題となっている。

## 1. 環境に対する考え方

### 《環境保全の基本的考え方》（各市町村の「田園環境整備マスタープラン」より）

#### 帯広市

生産を支える場として機能を維持するとともに、自然に配慮した工法を積極的に採用し、環境と調和した農業の発展を目指す。

#### 幕別町

雄大な景観と多様な生物が生息する良好な自然環境を保全・配慮しながら農村部の生活環境整備や農業基盤整備を積極的に進める。

#### 中札内村

親水機能や景観に配慮した整備、自然・生態系や自然浄化の維持等にも配慮した自然調和型の河川改修を目指す。

#### 更別村

親水機能・景観性を保持し、自然生態系や自然浄化力の維持に配慮しながら自然と共生した農業基盤整備事業を展開していく。

## 2. 環境配慮方針

### 《基本方針》

本地区の農地は、札内川や猿別川及び丘陵地帯などの樹林帯と連なって、豊かな自然環境を形成し、多様な動植物が生息、生育している。

したがって、本事業における工事の際にはこれらの生息、生育環境への配慮を図るとともに、農村景観との調和に配慮する。

### 《取組内容》

#### (1) 生態系への配慮

- ・ 工事区間内の林帯において、工事実施前に希少猛きん類の生育及び営巣状況を調査し、営巣が確認された場合には、施工機械の騒音による営巣への影響を回避するため、繁殖への影響が低い9月中旬から3月中旬の期間を工事実施時期に設定し、低騒音型建設機械を使用する。
- ・ 地区内河川に生息する良好な水質環境を必要とするサクラマス（ヤマメ）を含む水生生物への影響を軽減するため、用水路及び頭首工工事による濁水流出軽減に向け汚濁処理施設を設置し、水質の保全に努める。

#### (2) 生態系及び景観への配慮

- ・ 用水路工事で既存林の交点においては、樹林帯の新たな分断を回避するため、基本的に既設道路沿いへ路線配置を行う他に、土留工により地上の伐採範囲を最小限に留める。
- ・ 用水路工事で河畔林が隣接する場合、基本的に道路沿いや農地内に路線配置を行うことで伐採を極力回避する他、河川横断工事では環境負荷の少ない推進工法を適用する。